

報告事項 (3) 地域公共交通計画実施事業の進捗状況について

① 高齢者少量輸送実証実験について

1) 実施期間の目的について

高齢化の進展が著しい地区や公共交通の利用が困難な地区において、新たな交通手段を確保するにあたり、その需要や課題を把握するため実施するものです。

2) 実証実験の概要について

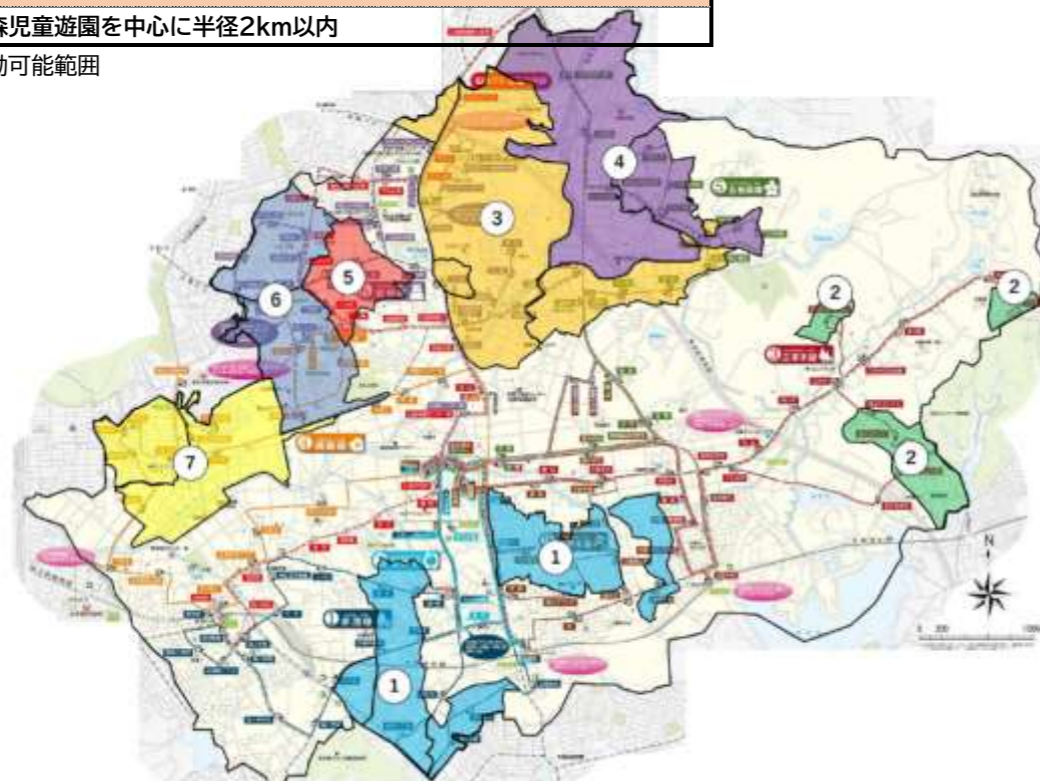
(1) 実験期間

令和5年10月2日(月)から令和6年2月29日(木)まで(平日100日間)

(2) 対象地区及び移動可能範囲

対象地区	対象地域及び移動可能範囲
①	A 東山、豊島台・日の出ヶ丘、榎木・日進団地、南ヶ丘、藤塚、浅田平子三丁目
	B 日進駅を中心に半径2km以内
②	A 三ヶ峯台、日進ニュータウン、南山エピック
	B 日進駅-三ヶ峯の中心から半径3km以内
③	A 岩藤町、岩崎町の一部(県道瀬戸大府東海線以東)(※1)、竹の山五丁目の一部(県道瀬戸大府東海線以東)、竹の山一丁目
	B くるりんばす岩崎線「小林バス停留所」を中心に半径2km以内
④	A 北新町、五色園
	B 五色園入口交差点を中心に半径2km以内
⑤	A 岩崎町の一部(石兼、芦廻間、野田、根裏、岩根)
	B 石兼公園西を中心に半径2km以内
⑥	A 岩崎台、香久山
	B 石兼交差点を中心に半径2km以内
⑦	A 梅森町、梅森台
	B 梅森児童遊園を中心に半径2km以内

A:対象地域、B:移動可能範囲

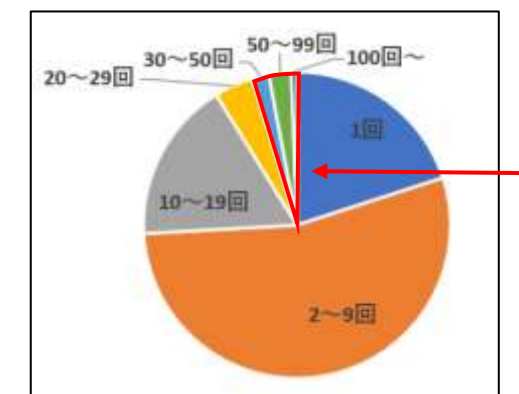


(3) 利用状況について

事業者	対象地区							合計
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
あんしんネット	100	13	196	62	34	211	131	747
愛知つばめ	61	24	-	-	-	-	-	85
マルセ	169	4	-	-	-	-	-	173
名鉄西部交通	388	-	-	-	-	-	-	388
合計	718	41	196	62	34	211	131	1,393
ヘビーユーズ分	289	-	97	-	-	141	-	527
ヘビーユーズ分除く	429	41	99	62	34	70	131	866
(参考) R4年度	822	64	209	※R4は対象地区③の対象地域は御岳団地のみ				1,095
登録者数	199	61	78	37	28	38	45	486
登録率	8.3%	11.4%	10.4%	3.5%	4.7%	3.3%	5.9%	6.7%
利用者数	87	8	18	10	11	13	23	170
利用率	3.6%	1.5%	2.4%	0.9%	1.8%	1.1%	3.0%	2.3%
地域内75歳人口	2,402	535	753	1,065	602	1,159	768	7,284
合計運賃	825,750	78,710	287,620	105,020	45,010	353,230	186,170	1,881,510
平均運賃	1,150	1,920	1,467	1,694	1,324	1,674	1,421	1,351
平均市負担額	750	1,520	1,067	1,294	924	1,274	1,021	951

表：対象地区毎の利用回数・登録率・利用率・市負担額まとめ

- 対象地区①、③、⑦の利用率が高い
対象地区①、③(の一部)は昨年度からの継続地域のため利用率が高く、対象地区⑦は新規地区となるが、タクシーニーズが高いと思われる
- 利用者の80%はリピーターであり、1度利用すると利用のハードルが下がると考えられる。
- 75歳以上全人口に対し、利用率2.3%となっている。
- ヘビーユーザー(全体の5%)による利用回数が、全体利用回数の38%の利用を占めている。



グラフ：実利用者利用回数

30回以上利用者をヘビーユーザーとする

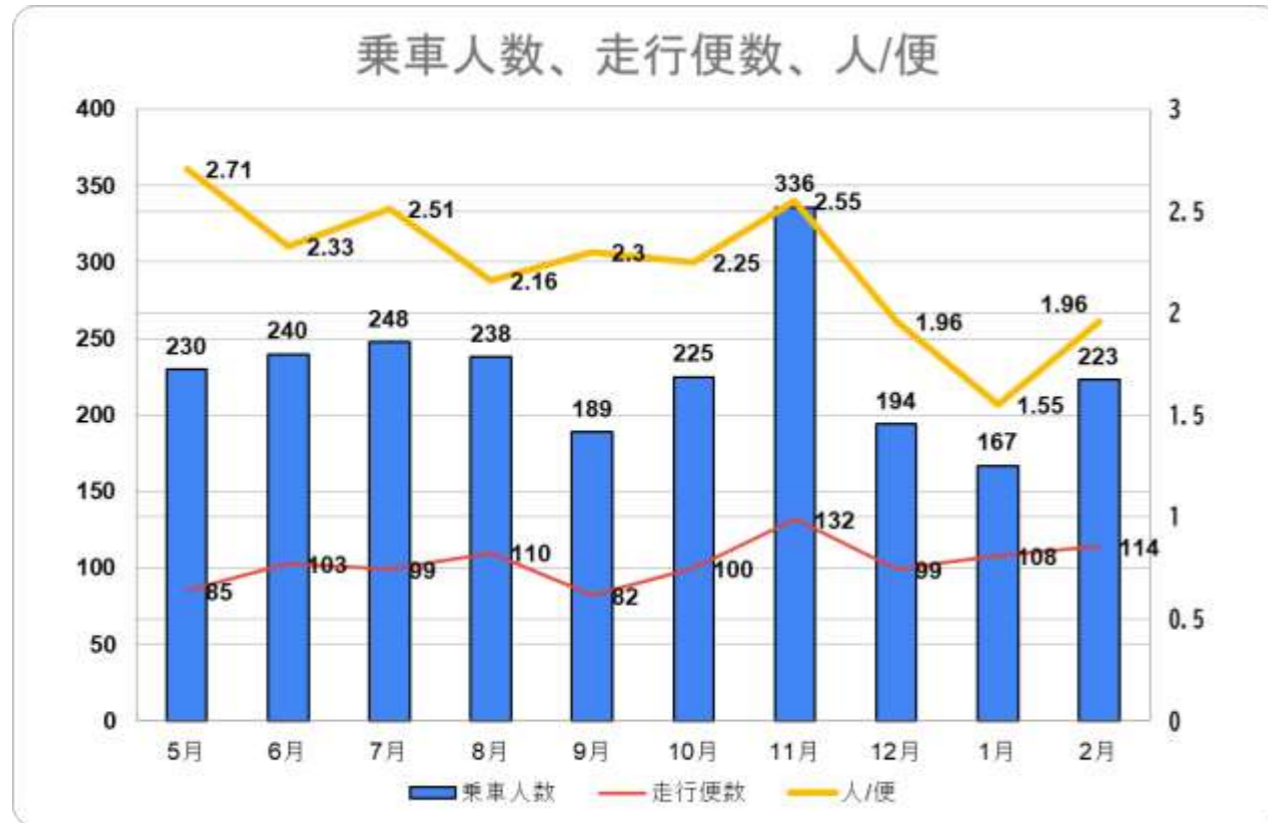
(4) 今後の予定

タクシーニーズが高い(高くなる)と想定される地域へ投入

- 4月のくるりんばすの路線改正により、くるりんばすの交通空白地帯となる地域
- 今後くるりんばすからの置き換えを検討する地域

② 自動運転走行実証実験について

◎運行状況について



- ・乗車予約システム実証（2月1日～2月29日）。
- ・国交省地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転実証調査事業）の実施～事業概要～
- ・信号連携をはじめとしたインフラ協調の実施（レベル4運行の実現を目指して）→2月上旬より実証実験開始に向けて準備中。
- ・住宅地エリアでの実証運行を実施（社会受容性の確保）→2台目の車両を調達し、住宅地を走行（2月20日より東山コースでの運行を開始）

◎今後の予定

- ・令和6年度は当初予算において2台分の運行経費等を計上→継続的な運行を実施していく予定
- ・住宅地内での運行について、市内での横展開に関しては、東山コースでの実証結果を踏まえて運行に適した条件の確認を進めながら新たな補助の獲得を目指して実施する方向で検討中。

東山コースで行ったアンケート結果

